

地域	北海道三笠市	認定日	平成21年2月20日	通巻番号	1 - 20 - 016
事業名	鶏醬と地域希少農産物(道産品)を活かした「こだわり調味料」の開発・製造・販売				
連携体	中小企業者：(株)中央食鶏(製造業)				
	農林漁業者：(有)渡辺農場(農業)、伊藤紀夫(農業)				
	連携参加者：北海道立工業試験場、北海道立食品加工研究センター				
サポート機関等	地域活性化支援事務局 北海道中小企業団体中央会(地域力連携拠点)				

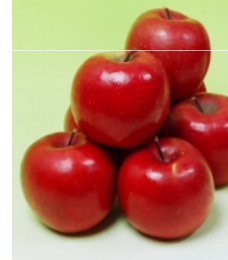
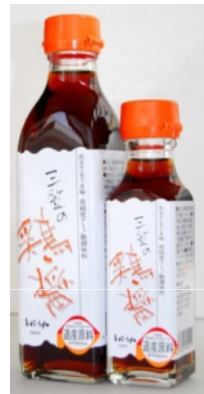
### 事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

#### ◆連携の経緯

(株)中央食鶏は、卵生産用鶏の処理業を行っており、従来、内蔵部位は産業廃棄物として有償処分していた。

平成17年度に、農林水産省の「食料産業クラスター展開事業」に取り組み、栄養価の高い内臓を醸造発酵させた『三笠の鶏醬』の開発に成功。さらに、鶏醬を使用した商品ラインナップ拡充の道を模索していた。

今回、こだわりの栽培方法を実施している(有)渡辺農場、希少品種であるリンゴ「幻の『旭』」を栽培している伊藤紀夫(屋号：伊藤果樹園)と連携し、新製品である調味料の開発、販売事業を進めていくこととなった。

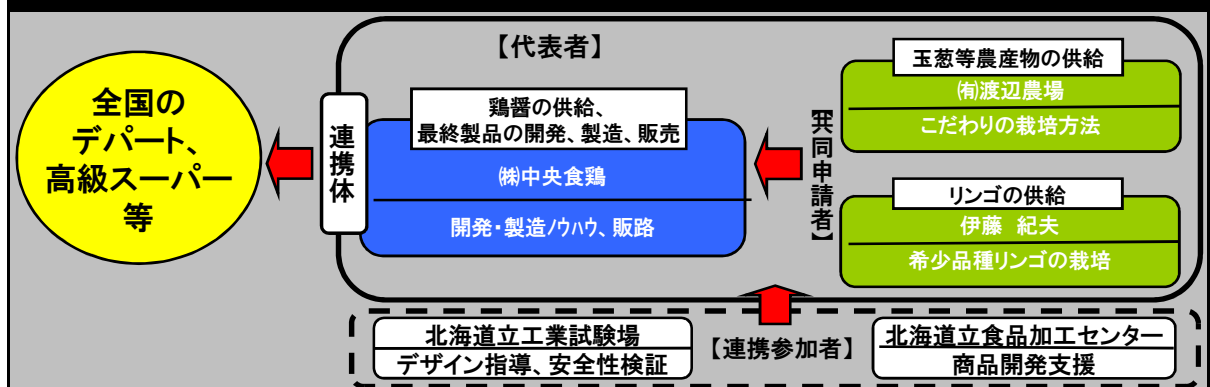


#### ◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

本事業では、『三笠の鶏醬』と希少農産物(玉葱：空知黄、リンゴ：幻の旭)を含む道産農産品とのコラボレーションにより、ソース、ドレッシング、ポン酢を開発、製造、販売する。

鶏醬の販売で構築した、デパート等への販路を活かし、付加価値の高い製品として市場開発を行う。

### 連携体の構成と活用する経営資源



### 期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の売上高……………3,500万円(平成26年)
- ◆地域名を冠した『三笠の鶏醬』のラインナップ拡充と地域農産物にこだわった製品により、新たな地域ブランドの創出
- ◆遊休農地の活用による生産増加
- ◆希少品種の安定出荷による経営安定化

### 代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地)：(株)中央食鶏  
(北海道三笠市本町4番地1)
- ◆電話番号：01267-2-8100
- ◆FAX番号：01267-2-8055
- ◆E-mail：thuo@pluto.plala.or.jp